

防弾車の整備・利用状況アンケート調査結果

実施期間: 2017年5月4日～12日

回答企業数 85社

(1) 防弾車を会社で保有している。

はい	68社
いいえ	17社
無回答	0社
保有率	80%

(2) 防弾車を個人で保有している社員がいる。

はい	11社
いいえ	73社
無回答	1社
保有率	13%

(3) 会社で保有する台数

保有社数	68社
保有台数	478台
平均保有台数	7台

(4) 防弾車の防弾レベル (※)

レベルⅡ	2社
レベルⅢ-A	62社
レベルⅡ・Ⅲ-A共に保有	3社
無回答	1社

(※) ブラジル国内では、次の2クラスがメインとなっています。

Nivel II (ガラスの厚み 17mm・小型車クラスで+ 160Kg)

Nivel III-A (ガラスの厚み 21mm・小型車クラスで+ 210Kg)

(5) 配備区分

	保有社数	保有台数	平均保有台数 (保有台数÷保有社数)	保有率 (保有社数÷回答企業数)
社長	59社	72台	1.2台	69%
重役	36社	131台	3.6台	42%
社員	15社	110台	7.3台	18%
家族	1社	1台	1台	1%
現地役員	7社	32台	4.5台	8%
現地社員	1社	1台	1台	1%
その他	20社	131台	6.6台	24%

参考) 2004年実施のアンケートまとめ(2005年1月発表) 回答企業数 82社

全項目はこちらのリンクをご覧ください: <http://jp.camaradojapao.org.br/news/atividades-da-camara/?materia=5352>

	保有社数	保有台数	平均保有台数 (保有台数÷保有社数)	保有率 (保有社数÷回答企業数)
社長	55社	68台	1.2台	67.1%
重役	22社	47台	2.1台	26.8%
社員	10社	40台	4台	12.2%
家族	2社	2台	1台	2.4%
現地役員	6社	10台	1台	7.3%
現地社員	0社	—	—	—
その他	9社	26台	2.9台	11%

(6)防弾車の利用状況

社用以外は利用しない	6社
私用でも必要と思われる場合は使用する	14社
公私に関係なく使用する	47社

(7)増車予定

有り	8社
なし	60社

(8)防弾車を保有していない場合

会社として配備を具体的に検討中である	6社
個人で配備を具体的に検討している社員がいる	0社

具体的に配備を検討している場合の配備区分

社長	1社
重役	1社
社員	1社
家族	0社
現地スタッフ(役員)	0社
現地スタッフ(社員)	0社

防弾車を配備する予定がない	11社
防弾車の配備が困難なため、フィルムを貼るなどの対策を実施している	4社

※ 具体的対策

- 来客の重要度などを考慮し、防弾車のレンタルは行うことがあります
- 早期に防弾車配備が完了するよう対策中です
- 修理などで一時的に防弾車が全駐在員分ない場合は、犯罪率を考慮し、在住地区別に優先順位をつけて車を配車している
- 地下鉄通勤
- タイヤにも防弾対策(スチールベルト)を実施

※ 防弾車を保有しない理由

- 購入・維持管理コストが高い。また、利用頻度が低い
- コスト
- 保有車を防弾車とすると走行に問題ありとメーカーより言われた
- 目立つ、車両自体が高額で且つ燃費が悪くコスト高、全社員に貸与するなど論外、また幹部社員や一部の駐在員の生命のみ守る価値があるとは考えていない
- 会社、居住地域が比較的安全な地域にあるため
- 防弾車によって防げる被害は限られるため
- 現時点で必要性を感じていないから
- 現地スタッフ含め、配備区分の決定が困難